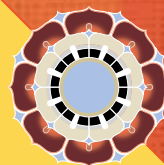
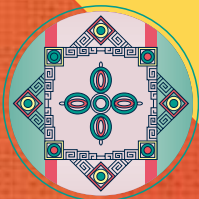


開館三十周年記念事業 みんなく公開講演会

毎日新聞夕刊連載コラム「異文化を学ぶ」をもっと学ぼう！

# 日本で暮らす

— 移民の知恵と活力 —



2007年3月2日[金] 18:30~20:30(開場 17:30)

オーバルホール 大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞ビルB1 定員 400名 参加費 無料

講演1 「ネパール人労働者の素顔」

南 真木人(民族社会研究部・助教授)

講演2 「チャイナタウン — 変容とバイタリティー」

陳 天璽(先端人類科学研究部・助教授)

司会 庄司 博史(民族社会研究部・教授)

# 日本で暮らす

— 移民の知恵と活力

日本のまちで、外国から来た人々の存在はたいへん身近になりました。私たちはマスメディアを通して世界の情報を知りますが、日常生活では、彼らを通して世界とつながっているとさえいえます。彼らの活力に満ちた生活を紹介します。日本に暮らす外国の人々からみたら、日本のまちがどう見えるか、考えてみましょう。

## プログラム

- 17:30~18:30 受付
- 18:30~18:35(5分) 開会:毎日新聞大阪本社編集局長 藤原 健
- 18:35~18:40(5分) 挨拶:国立民族学博物館長 松園 万亀雄
- 18:40~19:15(35分) 講演1 南 真木人「ネパール人労働者の素顔」
- 19:15~19:25(10分) 休憩
- 19:25~20:00(35分) 講演2 陳 天璽「チャイナタウン—変容とバイタリティー」
- 20:00~20:30(30分) パネルディスカッション

### 講演1 「ネパール人労働者の素顔」

南 真木人 (民族社会研究部・助教授)

報道でしばしば耳にする外国人労働者とは、どのような人びとであり、どのように暮らしているのか。東海地方に住む、ネパールから来た労働者を取りあげ、彼/彼女らの生活、関心、本国との関係、日本(人)観などを紹介する。さらに、そこから逆に見えてくる、日本の社会やまちの知られざる側面を考える。



講師紹介

グローバル時代のネパールを研究。村落調査を踏まえ、出稼ぎなどの移住や民族運動、マオイスト運動について調査する。共著に、『熱帯アジアの森の民』(2005年、人文書院)、『〈都市的なるもの〉の現在』(2004年、東大出版会)などがある。

### 講演2 「チャイナタウン—変容とバイタリティー」

陳 天璽 (先端人類科学研究部・助教授)

長崎、神戸、横浜にある日本の三大チャイナタウン。華僑・華人と呼ばれる中国系移民が多く暮らしているこれらの街は、観光地としても有名であり、エネルギーに満ち溢れ、訪れる人をも元気にさせる不思議なパワーがある。今回の講演では、クイズをしながらチャイナタウンの文化や歴史、そこに暮らす人々について学び、また、チャイナタウンから見えてくる日本の姿を考える。



講師紹介

国家の枠組みでは語りきれない移民のアイデンティティや文化の多様性に興味を持っている。華僑・華人を主な研究対象としており、これまで世界各地のチャイナタウンを調査してきた。近年は越境や国の変動によってうまれる無国籍者の研究に取り組んでいる。著書に『華人ディアスポラ—華商のネットワークとアイデンティティ』(明石書店)、『無国籍』(新潮社)などがある。

### 司会 庄司 博史 (民族社会研究部・教授)

司会者紹介

専門は言語学、言語政策論。最近では日本の多民族化やそれともなう多言語化現象について研究している。2004年春、民博にて特別展「多みんぞくニホン—在日外国人の暮らし」を企画した。編書に『多みんぞくニホン』(千里文化財団)、『日本の多言語社会』(共編、岩波書店)など。

## 特別展示のお知らせ

### 「聖地・巡礼—自分探しの旅へ」

人類学者の持つカメラは、目に映る暮らしだけでなく、見えないものさえも写し撮ろうとしてきました。本特別展では、創設以来30年にわたって民博が蓄積してきた「聖なるもの」の映像を視覚体験していただきます。2007年3月15日~6月5日開催予定

## 申込方法

「3月2日講演会参加希望」と明記の上、①郵便番号、②住所、③氏名、④連絡先電話番号を記載し、ハガキ、FAX、メールにてお申し込みください。2名様以上でお申し込みの場合は、それぞれの①~④を必ず明記してください。なお、応募者が多数の場合はご参加いただけない場合もあります。2月中旬に参加証を発送する予定にしております。当日は手話通訳もごさいます。

※参加申込をいただいた方の個人情報は、参加証の発送、次回以降の講演会、及び本館が開催するシンポジウム・フォーラムなどのご案内に使用いたします。

## 宛先

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1  
FAX 06-6878-8479  
E-mail koenkai@idc.minpaku.ac.jp

## 問合せ先

国立民族学博物館 研究協力課研究協力係  
TEL 06-6878-8209

みんなく携帯サイト  
■旬着情報を  
クリック!



## アクセス

- JR大阪駅(桜橋)から地下道にて徒歩約8分
- 阪神梅田駅・地下鉄西梅田駅から徒歩約8分
- ※車でのご来場はご遠慮ください

